

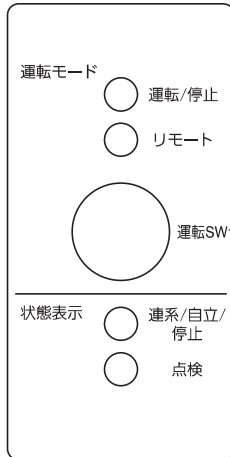
停電時の自立運転

連系自立自動切替を ON（初期値 OFF）にしている場合は、自動で自立運転 / 連系運転に切り替わります。
(9 ページ参照)

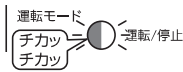
連系運転から自立運転にするには

停電時には外部表示操作部の運転 SW を操作することにより、自立運転に切り換えることができます。

自立運転モードでは、自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。予め自立運転コンセントの設置工事が必要です。

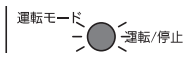


1. 外部表示操作部の運転SWを約5秒長押しして「停止モード」にする



- ・運転/停止ランプが点灯から点滅に変わります

2. 外部表示操作部の運転SWを約5秒長押しして「運転モード」にする

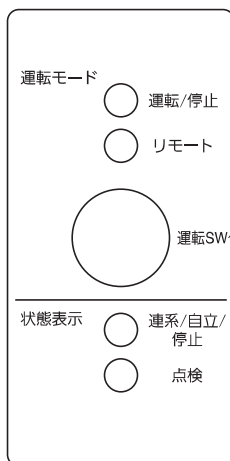


- ・運転/停止ランプが点滅から点灯に変わります



- ・連系/自立/停止ランプが点滅、自立運転コンセントに AC100V が出力されます
- ・リモコン使用時の自立運転時における電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力 (単位: kW) です

自立運転から連系運転に戻すには



1. 外部表示操作部の運転SWを約5秒長押しして「停止モード」にする

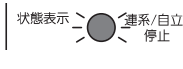


- ・運転/停止ランプが点灯から点滅に変わります

2. 外部表示操作部の運転SWを約5秒長押しして「運転モード」にする



- ・運転/停止ランプが点滅から点灯に変わります



- ・連系/自立/停止ランプが点灯し、発電電力が表示されます

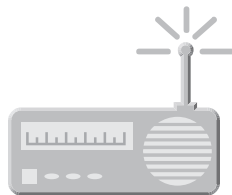
ご注意

- 停電復帰後、運転 SW を操作しても連系運転に戻らない場合は、住宅用分電盤の太陽光発電システム連系ブレーカを確認し、OFF（切）の場合は ON（入）にしてください。

自立運転コンセントで使える機器例



テレビ



ラジオ



スマートフォンなどの充電器

⚠ 警告



禁止

● 自立運転時に給電されるコンセントに以下の電気機器をつながない

- ・ 全ての医療機器、防犯機器
- ・ デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器
- ・ 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器
- ・ 電気ストーブ、電熱調理器具などの、高温部が露出し、かつ安全装置がない器具
- ・ その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器



発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。

● 自立運転時に給電されるコンセントには、自動で給電された場合に不安全となる可能性がある機器は接続しない

⚠ 注意



禁止

● タコ足配線での使用はしない

延長コード等の容量を超えると、発熱により火災や機器の故障のおそれがあります。

● 自立運転出力（自立運転コンセント）に機器を接続したままにしない

火災、感電の原因になります。使用時には機器が安全な状態であることをご確認ください。
ご使用後は、すみやかにプラグを抜いてください。

お知らせ

- 自立運転コンセントはお客様のご要望により増設することができますが、最大 15 A 以下でご使用ください。自立運転で使用できる電力は、1,500 W までとなります。15 A を超える電流が流れた場合、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。

自立運転時のご注意

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電電力が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できず、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- 使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候の状態の変化などで出力が不安定になることがあります。太陽光発電の電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。
- パワーコンディショナの自立運転出力は、商用電源と完全に同一ではありません。通常時と電気製品の動作が異なったり、動作しない場合があります。
- 自立運転中に日没となり翌朝停電から復帰していても、自立運転を継続いたします。（連系自立自動切換：OFF（初期値））運転 SW を停止モード→運転モードにすることで、連系運転を開始します。
- 自立運転開始後に太陽光発電システムや、接続された電気機器から発煙、異臭や異音がした場合は、ただちに運転を停止してください。